

イオンの環境・社会貢献活動 年表

主な環境保全活動・社会貢献活動

年	活動内容
1965	岡崎オカダヤ開店時に1000本の桜を岡崎市に寄贈。
1977	「ジャスコ社会福祉基金(現イオン社会福祉基金)」設立。
1979	財団法人「岡田文化財団」設立。
1989	グループ名をジャスコグループからイオングループへ改称、同時に「イオングループ1%クラブ(現イオン1%クラブ)」創設。
1990	「地球にやさしいジャスコ委員会」発足。 イオン1%クラブ、国際的な文化・人材交流事業の一環として「小さな大使(現ティーンエイジアンバサダー)」事業開始。
1991	「イオン ふるさとの森づくり」スタート。第1号店はジャヤ・ジャスコストアーズ マラッカ店(マレーシア)。 財団法人「イオングループ環境財団(現イオン環境財団)」設立。 「クリーン&グリーン活動」開始。 「買物袋持参運動」実験開始。 「店頭リサイクル(食品トレイの回収)運動」実験開始。
1992	「イオン ふるさとの森づくり」国内第1号としてジャスコ新久居店(現久居店)で植樹祭実施。
1993	有機栽培などによる農作物を自社ブランド「グリーンアイ(現トップバリュ グリーンアイ)」として展開開始。
1994	イオンのプライベートブランド「トップバリュ」販売開始。 「ハートビル法(2006年12月よりハリアフリー新法)」に基づき独自の「イオンハートビル設計基準」を作成。ハートビル法認定国内第1号のジャスコ南方面店オープン。
1995	「リターナブルコンテナ・リユースハンガー」導入。
1996	「環境委員会」発足。 「ジャスコ子どもエコクラブ(現イオン チアーズクラブ)」発足。
1998	財団法人「イオングループ環境財団」、「万里の長城・森の再生プロジェクト」第1回目の植樹を実施。
2000	「マイバスケケット・マイバッグ運動」開始。 「トップバリュ 共環宣言」販売開始。 エコロジーショップ「SELF+SERVICE」展開開始。 「ISO14001」を全社一括で認定取得。
2001	イオン株式会社に社名変更、「イオン・デー」開始。 「イオン 幸せの黄色いレシートキャンペーン」スタート。 イオン1%クラブ、カンボジア学校建設支援開始(2001年～2003年 計149校)。
2002	国土交通省の「ボランティア・サポート・プログラム」とタイアップした「イオン・クリーンロード」活動を展開。
2003	「バイオマス包装資材」採用開始。 「イオンサプライヤーCoC」制定。
2004	バルーンシェルターの配備開始。 「地球温暖化防止に関する基本方針」策定。 国連が提唱する「グローバル・コンパクト」への参加を表明。 イオン(株)、トップバリュのサプライヤー管理とイオン本社業務において「SA8000」認証取得。 「トップバリュ」ブランドから「トップバリュ フェアトレードコーヒー」販売開始。 イオン1%クラブ、ネパール学校建設支援開始(2004年～2005年 計57校)。
2005	エコストア1号店「イオン千種SC」オープン。
2006	エコストア2号店「イオン柏SC」オープン。 エコストア3号店「イオン大日SC」オープン。 「トップバリュ」ブランドからMSC認証された魚介類の販売を開始。 「トップバリュ」ブランドからFSC認証された紙製品の販売を開始。 イオン1%クラブ、ラオス学校建設支援開始(2006年～)。
2007	レジ袋提供方法の見直し(食品売場のレジ袋無料配布の中止)をジャスコ東山二条店より開始。 日本の総合小売業で初めて、環境省と「循環型社会構築に向けた取組みに関する協定」締結。 エコストア4号店「イオン鹿児島SC」オープン。
2008	ペットボトルキャップ回収キャンペーンを開始。 CO ₂ の排出削減目標について国内企業で初めて具体的数値を定めた「イオン温暖化防止宣言」を策定。 「イオン創業250周年」の取組み、「日本縦断 イオン・クリーンキャンペーン」スタート。 お歳暮配送時に排出するCO ₂ のカーボンオフセット実施。 エコストア5号店「多気クリスタルタウンSC」オープン。 エコストア6号店「イオン苫小牧SC」オープン。 エコストア7号店「イオンレイクタウン」オープン。 エコストア8号店「イオン日吉津SC」オープン。
2009	「トップバリュ」7品目9種類で「カーボンフットプリント」表示商品を試験販売。